

# 保育士が木育を体験

## 福生・弥生保育園

福生市加美平の弥生保育園(高山佐代子園長、園児72人)では木育を園方針の一つとして掲げており、さらに充実するため保育士14人が参加して木育を学ぶ研修会を14日、同園で開き東京・森と市庭(いちば)(奥多摩町氷川、野口洋代表)の木育クリ

エーター・五十嵐正雄さん(42)を講師に招き木育の基本を学んだ。同社は2013年に設立。間伐材を利用して木のメダルやロウソク立て、木馬などの小物類から遊具、家具などを製造・販売しているほか、木育のワークショップなどを各地で行っている。五十嵐さんは「木を子どもの頃から使うことを通して人と自然との関わりを主体的に考えられ

る豊かな心を育むのが木育」と概念を説明。具体的には①五感を使う体験②運動して多様な動きを身に付ける③多くの感動に出会うことが大切だとレクチャー。

その後、玄関ホールに山積みされたヒノキやスギの端材と長く削られたカンナ屑を使って保育士たちが木工作に挑戦。鋸や鉋、ピストルタイプの接着剤・グルーガンなどの工具を使って1時間半、笑い声も起る中、「カブトムシの遊び場」やカンナ屑と杉の葉を組み合わせたリースとツリー、小物類を置く飾り棚、名札、ヒノキの香りがする飾り、壁掛けなど思い思いの作品に仕上げた。保育士からは「初めて木育して楽しかった。これをきっかけに子どもたちの柔軟な発想力を見てみたい」などの声が聞かれた。

高山園長は「以前は簡単な工作物に絵を描かせるだけの木育だったが、これからは保育士と一緒に楽しくて豊かな想像力を育む木育を継続していきたい」と話し木育への期待を膨らませた。

# 園児の豊かな想像力育てる



## セミナー開催

日時 6月30日(金) 10:00~12:00

あきる野  
きる野ルビ  
5月24日、  
ためのAI  
ミナーが  
同セミナー  
atGPT  
なものかを  
が学べる場  
と精密機械  
の製造を行  
イニイット  
の齋藤章浩  
左IIが主催  
講師は、  
身でAIチ  
しいインタ  
概念のWe  
詳しく、フ  
和国でコン  
として活動  
さん(47)II

て知りたい人、多摩産一代表理事組合長と総合